

3/2(月)～新日程でスタート!

- S1 →火曜日
- S2 →木曜日
- S3 →日曜日
- 個別 →月曜日

○春期講習 新中2・中3対象!

[オーナー]

○計画学習の習慣化 一処方箋 & TS

[清水塾長]

○現場の声

- 中3 一般入試まで約10日
- 中2 いよいよ受験生への仲間入り
- 中1 ワンランクアップの新学年をスタートする

○学力アップ memo・今月の名言

※春季休業 3/12(水)～18(火)

☆オーナーblog 第26話→HP掲載中!!

2/22(日)保護者総会(zoom)には多数ご出席を頂き有難うございました。新たな気持ちで、スタッフ一同より一層力を合わせ、研鑽し続けて参ります。わたしの役割としましては、**全塾生の状況把握・一人ひとりの状況に応じたカウンセリング・自信を持って社会に羽ばたいていける学生スタッフの育成・兵庫県公立入試問題の徹底研究と学校テスト分析を挙げています。**また、毎週月曜日には中島成生先生とS1,2,3のフォローをさせていただきます。**計画性・学習理解・学習法上達サポートが重点項目となります。**並行して**自立型個別学習**の場も提供致します。是非、積極的な参加をお待ちしています。このような状況下で、最良の結果創造を目指して日々精進してまいります。引き続き宜しくお願い致します。

(塾長 清水)



自習棟八潮の木

達成テスト

中3 『乗法公式』『現在完了』

4/14(火)～19(日)

中2 『式の計算』『未来形』

4/21(火)～26(日)

櫻井恵那先生のコメント
甲南女子大学 看護リハビリテーション学部三年 看護リハビリー

少しずつ暖かくなり、春の訪れを感じる季節になりました。今回は「**ありがどうの意識**」について書くことと思います。私は看護学生として、昨年9月から半年間、様々な病院で実習をしました。毎日必死でうまくいかない日もあり「自分だけが頑張っている」と感じることもありましたが、しかし、実習を終えた今、気づいたことがあります。それは、私は決して一人ではなかったということです。疲れて帰った日に用意されていた温かいご飯。話を聞いてくれた友達。学びの機会を与えてくださった患者さん。私の頑張りの裏側には、**たくさんの「支え」**がありました。誰か一人でも欠けていたら、きっとここまで続けることはできなかったと思います。皆さんのそばにも、きっと大切な人がいるはずです。応援してくれる人、信じてくれる人。見守ってくれている人。忙しい毎日の中でも、その存在に「ありがと」と思える心を忘れずに。その気持ちで、**前へ進む力**になると私は感じています。

4月実力テスト対策

[勉強の仕方を学ぶ]

- 過去問模試 4/1(水)
- 過去問解説 4(土)
- O.S. 4(土)～8(水)

(注意) お迎えご苦労様です!

- ・安全のため、**出口すぐ前は駐車しない**で下さい
- ・**エンジンを切って**お待ち下さい
- ・**停車・発車時のエンジン音へのご配慮**もお願いします



いくせい塾すぐ前(西)の道は通学路につき pm1:00～4:00 は車での通行禁止ゾーンになっています。お気をつけ下さい!

Tel.079-431-5777 E-mail ; ikusei-g@gaia.eonet.ne.jp

新中 2.3

春期講習 [4月実力対策]

英語授業ノート →ワーク →過去良問の順で演習します！

【費用】 ¥10,000-(税抜き)

※詳細は、HPにて掲載

【出席日・時間帯】 濃緑色の時間帯で個別学習となります

	14:30～17:30	19:00～21:30		
	講義棟	講義棟 1F	講義棟 2F	自習棟
3/21 (土)				
22 (日)				
23 (月)		個別	Zoom指導	
24 (火)		S1	個別	
25 (水)	講習①			
26 (木)		S2	個別	
27 (金)				
28 (土)	講習②	講習③ (英語達成テスト)		
29 (日)				
30 (月)		個別	Zoom指導	
31 (火)		S1	個別	
4/1 (水)	講習④			
2 (木)		S2	個別	
3 (金)				
4 (土)	講習⑤	講習⑥ (英語達成テスト)		
5 (日)	OS			
6 (月)		OS		
7 (火)				
8 (水)				

※英語達成テスト→Zoom 配信で実施します

計画学習の習慣化 — 処方箋 & TS —

自立型個別学習を軌道に乗せて、家庭学習の習慣を身に付けます

勉強の仕方を間違えると、いつまでも「勉強ができない」というイメージを引きずります。始まりは「意外とできるかな？」と、自己イメージを“ポジティブ”に変えていきます。そのきっかけを与えてくれた先生は、“恩師”となります。

担当の指導能力が問われることとなります。

“その気にさせる”ことができる先生は、自分の時間を割いて「心理学」や「教材研究」や「観察力」など、まじめに問題と向き合い習得してきているものです。

ここでは、学生スタッフにテクニックのほんの一部をお教えしたいと思います。

前提として、人それぞれなので、相手をステレオタイプ的に決めつけないことです。子供が認めたくないイメージなら、不信から嫌悪に受け取られることがあります。

「あの先生は嫌い」→（良いことを教えても、聞き入れようとしない）悪循環が発生します。好かれる必要はありませんが、嫌われると、「教える⇔教えられる関係」が成立せず、講師としては役立たずになってしまいます。

☆ “フリーズ” している生徒への対応

何事もすべては、観察から始まります。

どのような教材をしているか、どの問題をしているかを確認します。

実力に見合わない問題をしている場合は、基礎問題への誘導が必要になります。

実力者になるには、基礎のマスターは必要条件になります。

中には、執拗に選択した問題を解こうとするタイプもいますので、信頼を得るためには、まず、基礎に付き合い、段階を踏んで、その対象問題まで付き合い続けます。

大切なことは、フィードバックです。解く能力はあるが、そこまでたどり着く手順が重要であり、必要であることに気付かせます。

もちろん、“自分で気付いた！”という話の組み立てはポイントです。

「君はできないのではない。やり方を知らなかっただけだ。」というストーリーです。

いくせい塾の仕事は、次世代の日本人（神吉住民）を育てていることと言えます。

☆ 計画通りに進まない生徒への対応

“何もかも中途半端”な自己イメージにつながりかねません。

特に“人並み”とか“完璧”とかの目標に囚われた強迫観念が増強されると、いら立ちや不満につながる傾向にあります。切り替えができない発達段階なのかも知れません。

ノルマ的にとらえていることが、最初の間違いになります。

そこに気付かせて上げられる先生ならば、強迫観念が生まれずにすむかも知れません。

いくせい塾のスケジュールは、予習型です。

あくまでも、兵庫県公立問題のマスターを中学3年間で割り振っているだけにすぎません。

先へ進むことも可能ですし、月曜日は補習として活用することもできるのです。

現在の自分の学力に応じた演習問題数に、調整することが自立型個別学習です。

先生は、演習問題の減量や増量を勧めなければなりません。

そのためには、個々人の学力の発達段階を観察していなければなりません。
勉強の仕方が上手になることは、学習の効率が上がり、単位時間の問題処理数が増えることを意味しています。

特に大学生のスタッフの先生は、ご自分の大学生活でも試すべきでしょう。

どのような学習をすれば、講義を理解でき「優」が多く取れるか考えてはいかがでしょう。

☆3月の役割分担

Today's schedule の作成方法を、事務長がスライドショーで作成してくれました。

まずは、水埜先生・中島先生・神吉先生に確認してもらい指導準備をしてもらいます。

2/24（火）、26（木）の最初の15～20分間で作成方法をアニメーションでながします。

3月第1週分の処方箋とTSの作成方法で表現しております。

最初の作成は、3/3（火）で、グループ形式で個別に指導してもらいます。

〔学生スタッフ〕（中島先生・神吉先生）

- 処方箋の作成法を理解して、早期習得のサポート
- 処方箋から、TSの作成と進行をサポートする

〔清水塾長〕

- 処方箋の作成の目的をZoom講座で、自力で作成する自信を指導する
- TSの反省・感想・課題を確認して、より意味のある内容表現を導き出していく
- 個々人に必要なテーマの学力アップメモを準備して、次の課題を明確に伝える
- カウンセリングの要点をカルテに入力して、保護者へ伝える三者面談の準備をしておく

〔水埜先生〕

- 日曜日確認テストの実施状況を、「基礎確認ノート」で評価・押印していく
- 過去良問の実施状況を過去良問リストで確認しながら、「定期対策ノート」を指導する
- 前回のカウンセリングより、テスト直し・反省書・計画の進歩した点を指摘する
- カウンセリングの要点をカルテに入力して、保護者へ伝える三者面談の準備をしておく

〔神吉事務長〕

- カウンセリングの入力カルテを、三日以内に保護者にメール送信する。
- 欠席の連絡が入り次第、（限られた）座席変更と個別指導枠を修正する
- 保護者よりの要望・評価・賞賛・感謝メールは、三日以内にスタッフに連絡する

保護者の皆さんは、今月の役割分担の内容と成果を適切にご評価して頂き、ご子息の成長が認められる場合は、適切な賞賛のメール（いいね！より詳細に）を送って頂ければ幸いです。

（先生職は、評価・特に感謝が無ければ、やりがい意欲が低下する業種です）

良い患者や良い保護者に恵まれたとき、先生は活性化するものだ実感しています。塾長と水埜先生のカウンセリング（任意）は、個人カルテに入力されます。

そして、毎回終了後、事務長によって保護者へメール送信されるようになります。

Shimizu 塾長の 現場の声



中3 一般入試本番、今までの努力を最高に発揮する

〔ここから10日間〕「もうこれ以上やれることはない！」 日々の積み重ねより、やや開き直りの境地へ

- ・生活リズム（11時までに寝て6時に起きる 寝る前の暗記確認 適度な運動&発散…）
- ・1日5教科受験に堪えうる“強い脳”・“学習体力”の鍛錬
- ・スピード強化&適切な時間配分の上達（イメージトレーニング）
- ・基礎練習の継続（計算・公式・単語連語構文・漢字・教科書太字…）

〔当日〕最高の集中力・細心の注意力で、最良のパフォーマンスを！

- ・「絶対に第一志望校に合格する！」強い気力の充実
- ・“いつも通り”を意識（普段通りの力を発揮できれば合格できる！）
- ・休み時間 前半（疲労回復）後半（次教科の準備）直前（精神統一）

夏からの受験講習を通じ、
お互いにやれること・伝える
べきことは全てしました。
いよいよ集大成の日、
ここを込めて、
「いってらっしゃい！」

中2 実力テストに対応する受験勉強のやり方を知る

ここから4月実力テストまでの学習量は、物凄く重要です。

学校授業もあまり進まない春、得意科目を更に伸ばし、弱点を克服するのに絶好の機会です。モチベーションの維持向上と具体的な計画作成を優先してサポート致します。既受験1,2年実力テストの分析をもとに、既習範囲において取り組むべき内容を全て洗い出し、「いつ・何を・どのように行うのか」かを綿密に計画します。その前提として大切なのが、目的意識を持つことです。将来の進路や志望校・具体的な順位と目標・学期ごとのテーマについてしっかりと考え、自分自身の思いを明確にしていきます。今この時点での決意が、今後の学習姿勢を大きく左右します。現時点での思いを自分で決めることが大切です。毎年のことですが、15歳の高校受験は決して甘くありません。しかし、その厳しさを乗り越えた先にこそ、大きな成長があります。中3秋以降の実力テストで安定した得点力を確保する為にも、「今」がどれだけ大切かをお互い肝に銘じ、共に取り組んで参ります。

中1 1年間の反省より、ワンランクアップの新学年をスタートする

中学2年生は、高校受験に向けた土台を完成させる重要な学年です。学習内容は量・難易度ともに増します。部活動も中心的な立場となるため、学習へのモチベーションが低下しやすい時期でもあります。しかし、この一年をどう過ごすかが、3年生での伸びを大きく左右します。そのため、1年生の既習範囲の徹底した基礎固めを行い、余裕のある人には2年生内容の先取り（特に、数英）も視野に入れながら指導して参ります。一人ひとりの状況を丁寧に把握し、的確な学習プラン提供に努めます。

まずは、処方箋活用の定着を通して、次の成長を目指します。

- ・自ら計画を作成し、自覚と責任を高める（自己責任）
- ・決めたことをやり抜く力を養う（自己管理）
- ・計画通り進まなかった場合には、振り返りと修正を行う
- ・家庭学習の習慣を確立する
- ・「何のために学ぶのか」を常に考える姿勢を身につける

教室スタッフによる対面指導とリモートカウンセリングを組み合わせ、生徒一人ひとりの成長の春を力強くサポートさせて頂きたい所存です。



学力アップ memo (3月度)

合理的な効率学習の定着を目的として、自己ベストを目指します！
指導の徹底はスタッフの業務、習得の確認は保護者の努力となります！

○～3/5 (木)

スケジュールノート

処方箋より Today's Schedule を作成
学習前に、その日の手順を考える

自立型個別学習・OS・家庭学習では、時間帯と内容を決めるイメージ通りに進むようになれば、学力アップの証明となる
学習終了後、感想・反省と次回の課題を記述しておく

Ⅲ-8

処方箋

毎週の学習計画を作成する
土曜日に作成、日曜日から実践する

HPの学習計画を見て、専用用紙に記入していく
完了した項目は、赤蛍光ペンで消去して進めていく
やるべきことに気付いたら、随時追加記入していく

Ⅲ-9

○～3/19 (木)

確認テスト

入試に必要な知識を分割習得
基本事項の再生力を確かめる

膨大な基礎知識は、3年間で分割して覚えていく
記憶した知識は、入試まで再生できなければならない
短時間での記憶術を、試行錯誤しながら習得する

Ⅲ-1

基礎確認ノート

間違い直しや暗記練習用
覚えることが目的のノート

英単語・漢字テストの間違いは、覚えるまで書く
確認テスト直しは、問題番号と解答だけでなく解説も書く
丁寧よりは、使い捨て感覚でメモとして使う

Ⅲ-5

○～3/26 (木)

解答活用

ワーク解説欄は必読
線や書き込みを入れている

解説には、要点と出題傾向が掲載されている
全てに目を通すことは、学習の“王道”である
ラインは既習の証、次回の解答時の始点になる

Ⅲ-18

解答冊子

葉として活用
問題集の学習ページに挟む

次回、すぐに学習が始められる状態で終了する
解答を見つける時間は、学習時間に含まれない
解答冊子自体も、学習中のページを開けておく

Ⅲ-19

○～4/2 (木)

ノート活用

テスト前のイメージ再生
短時間でできる工夫をしている

対策ノートは、計算用紙や書き写しの道具ではない
テスト調べに役に立つように、準備するものである
得点になる箇所を強調しておく、時短可能となる

Ⅲ-4

鞆の整理

教材を取捨選択
毎回、中身を確認している

教材を探す時間は、学習時間に含まれない
見つからなければ、イライラ・不安も増す
学習の第一歩は、気持ちのよい滑り出しである

Ⅲ-20

3月の名言

真摯に生きた偉人の知恵から学ぼう！

日にち	偉人(国籍)	名言
4(月)～ 9(土)	エマーソン (イギリス)	健康は、第一の富である
11(月)～ 16(土)	ブッダ (インド)	目的が達成されるまで、 人は努めなければならぬ。 自分の立てた目的が、 その通り実現されるのを見よ。
18(月)～ 23(土)	松下幸之助 (日本)	世の為・人の為になり、 ひいては自分のためになることをやったら、 必ず成就します
25(月)～ 30(土)	ジョージ・ワシントン (イギリス)	真の友情は ゆっくり成長する植物である。

